

ひろしま神楽 定期公演 2025 10月1日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止**とさせていただきます。
 - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
 - (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
 - (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- ※ビデオカメラなどを使用しての動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用しての撮影は禁止どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

下河内神楽団【広島市】

広島市佐伯区五日市町下河内地区に古くより伝わる神楽団です。河内神社を拠点に活動しておりますが河内地区には神楽団が2団体あり河内神社の例大祭奉納神楽は1年毎交互に勤めさせて頂いております。団の創設は江戸時代末期・天保年間と言われており、当時の神職より伝授された十二神祇神楽(伊勢神楽)を代々受け継いで参りました。戦争による中断(昭和24年に有志が集まって復活)や、後継者の減少により休団の危機もありましたが先達の方々の尽力により活動を続けることが出来ております。現在は此れまで受け継がれてきた十二神祇神楽に加えて活動のはばを更にひろげるため県北地域で盛んな山県舞や高田舞と呼ばれる芸北神楽を取り入れお祭りや各種イベントなどで奉納させて戴き伝統の継承と後継者の育成に日々精進しております。



大江山

おおえやま

平安朝の中頃、丹波の国は大江山千丈ヶ嶽の窟に多くの鬼を従えた酒呑童子(しゅてんどうじ)という鬼の頭領がおりました。酒呑童子とその眷属は、夜毎都に下りて来て、宮中の女房や娘たちを攫い、金銀財宝を奪うなど悪事の限りを繰り返していました。都の混乱を心配された帝は重臣たちに大江山の鬼討伐の命を出され、当時天下に名の知れた源頼光(みなもとらいこう)を召されます。大江山鬼退治の宣旨を受けた頼光は神仏への祈願ののち配下の渡辺綱(わたなべつな)なべつな、坂田金時(さかたきんとし)ら四天王を引き連れて修験者の姿となって大江山討伐に向かいました。途中都の境、老の坂あたりで三人の翁に化身した住吉・八幡・熊野の三社の神の託宣があり、「鬼が飲めば、鬼の神通力が失われ、人が飲めば、力が満々とわいてくる」神便鬼毒酒(じんべんきどくしゅ)と、いくら注いでも尽きることがなく毒にも薬にも注ぎ分ける二口の打銚子(うちでうし)、古より八幡神が悪魔を鎮めるときに召され、冠れば万人の力が漲り、鬼の牙をも通さない星甲(ほしかぶと)をさずかりました。三神に導かれ鬼の窟に向かう一行は、道の途中で都から酒呑童子らに攫われた娘と出会い窟への案内と童子への取り継ぎを頼みます。行者姿を怪しむ酒呑童子と問答の末、童子に信用させた頼光一行は酒宴に招かれ、そのおりに都の銘酒と偽り神便鬼毒酒を鬼たちに振る舞い、酒の神通力により酔いつぶれた酒呑童子を眷属共々討ち取ったというお話です。

下河内神楽団の大江山は山に足を踏み入れてからの物語を演じており三社の化身などの登場はありません。山中で出会う攫われた娘の案内で鬼の窟に辿り着き酒呑童子と頼光主従の扮する山伏の問答、酒宴、酔った酒呑童子が自分の生い立ちを語って聞かせる口上などに力を入れてこの神楽の見どころとなるよう演じております。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用しての動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS 等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用しての撮影
- 撮影された画像・動画の営利目的での使用および2分以上の公開



#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう!

ひろしま神楽の魅力を発信してください!!

大	太	鼓	一	田	上	敬	洋
小	太	鼓	一	田	上	幸	太
手	打	鉦	一	光	井	陽	菜
	〃	一	安	田		璃	子
	笛	一	山	田		英	臣
源	頼	光	一	木	村	健	斗
渡	辺	綱	一	山	下	颯	士
坂	田	金	時	一	笹	長	菜
紅	葉	姫	一	池	田	悠	
酒	呑	童	子	一	河	合	大
茨	木	童	子	一	岡	本	侑
唐	熊	童	子	一	広	増	一

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造



その半券
捨てないで!!!
**お得な
特典!**

「ひろしま神楽定期公演」の半券を
神楽門前湯治村に持っていくと
神楽門前湯治村で観覧される
定期公演(大会を除く)の半券を
「ひろしま神楽定期公演」に
持っていくと

入浴施設・岩戸屋の
入浴料¥100割引
当日券入場料
¥100割引
※2025年12月24日まで有効

アンケートにご協力ください!

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。



こちらから
ご回答ください